

Evolut を用いた TAVI 後における人工弁の留置方向に関する検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)は安全性・有用性から、外科的大動脈弁置換術の手術リスクが高い重症大動脈弁狭窄症患者さんに対して広く行われています。しかし、TAVIにも課題がいくつかあり、人工弁の向きによっては、術後に冠動脈の入口部を人工弁の構造物が覆ってしまうため、冠動脈へカテーテルを挿入することが難しくなる事があります。網目構造なので血液は通りますが、特に自己拡張型人工弁 Evolut では、人工弁交連部の位置が高いため、冠動脈の入り口により近くなり、この可能性が高くなります、

人工弁交連部を自己の大動脈弁交連部に近づけて留置できれば、冠動脈へのカテーテル挿入は比較的容易になると考えられており、当院では Evolut の構造的な特徴を利用した調整を行っております。本研究では、この調整によって、より良い向きに人工弁を留置することが可能かどうかを検証することを目的としております。診療記録より情報を収集しますが、研究のために新たな検査や受診をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2017年3月～2022年4月に当院でTAVIを受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、採血データ、心エコーデータ、手術前後での造影CTデータ等

研究予定期間

研究実施許可日～2024年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 循環器内科 神波 裕

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 循環器内科 神波 裕

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)